

科目 コード	11230	授業 科目	沖縄の生活と文化 (Okinawa Lifestyle and Culture)			担当 教員	○成定洋子(非常勤)	
開講年次	1年次 前期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目	授業 形態	講 義	
選択必修	必 修	時間数	30時間					
履修 条件	前提科目	なし						
	その他	なし						
授業概要	世界における「文化の多様性」の基本的理解の上に、沖縄に暮らす個人ならびに共同体がもつ強みと弱みをグローバルな視点からとらえられるように、沖縄の「歴史や文化」と現代社会において沖縄の人々の生活を支える「地域の社会心理的特性」との関わりについて学習する。							
到達目標	1. 沖縄の生活と文化について、歴史的視点から理解する。 2. 沖縄に生活と文化について、各自の考察を行う。							
授業回数	授 業 内 容 及 び 計 画				事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態	
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回	全体の講義についての説明 「沖縄の文化」のイメージ① 「沖縄の文化」のイメージ② 暮らしと信仰① 暮らしと信仰② 沖縄の文化とジェンダー① 沖縄の文化とジェンダー② 消えゆく文化論① 消えゆく文化論② 戦後の文化変容① 戦後の文化変容② 戦後の文化変容③ 世界のウチナーンチュ① 世界のウチナーンチュ② まとめ、沖縄の生活と文化をめぐる展望				事前・事後学習の学習課題については、各講義時に説明する。	成 定	講 義	
テキスト	各講義で、随時紹介する。							
参考文献	各講義で、随時紹介する。							
他科目との 関連	沖縄の生活や文化を理解・考察することを通して、沖縄における医療や健康の問題を取り上げる。							
成績評価の 方法	毎回の出席カード							
学習相談・ 助言体制	毎回の授業の前後に質問を受け付ける。							
授業改善の 特記事項	出席カードや授業評価に記述された要望などを必要に応じて随時取り入れていく。							
備 考								

科目 コード	12110	授業 科目	社会学 (Sociology)			担当 教員	○山口賢一	
開講年次	2年次 前期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目	授業 形態	講義	
選択必修	選択	時間数	30時間					
履修 条件	前提科目	なし						
	その他	なし						
授業概要	社会学の基礎理論をふまえ、個人と社会、集団、地域社会、社会文化等についての理解を深め、情報化社会、少子高齢化社会、グローバル化等に関する問題を取り上げ、事象の多面的な捉え方について学習する。							
到達目標	社会学の基礎概念およびテーマを理解し、批判的思考を養成する。							
授業回数	授 業 内 容 及 び 計 画					事前・事後 学習 (学習 課題)	担当者名	授業形態
第1回	社会学とは何か／社会学的想像力					テーマに沿ってテキスト、参考文献を講読	山 口	講義&エク ササイズ
第2回	社会を観察する方法							
第3回	社会で生きる「私」							
第4回	変容する家族のかたち							
第5回	性の多様なあり方を考える							
第6回	「現実を生きる」ための社会学							
第7回	環境・災害社会学							
第8回	逸脱行動と社会問題／社会学と医療							
第9回	「格差」の社会学							
第10回	生活空間としての地域社会							
第11回	グローバル社会とエスニシティ							
第12回	宗教から社会を捉える							
第13回	社会の中のメディア／メディアが動かす社会							
第14回	国家と社会運動							
第15回	総括							
テキスト	篠原清夫・栗田真樹編『大学生のための社会学入門』晃洋書房							
参考文献	講義中に適宜指示する。							
他科目との 関連	授業科目全般							
成績評価 の方法	定期試験 (40%)、プレゼンテーション (40%)、出席・講義参加度 (20%)							

学習相談・ 助言体制	授業毎に質疑応答により理解を助ける。
授業改善の 特記事項	授業毎に一分間メモを用いて疑問点をくみ上げ、次回の授業に反映させる。
備 考	研修室および電子メール情報については授業内で適宜案内する。定期試験は期末筆記試験あるいはレポート提出。

科目 コード	12120	授業 科目	法 学 (Law)			担当 教員	○吉本篤人(非常勤) 岩垣真人(非常勤)		
開講年次	3年次 前期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目		授業 形態	講 義	
選択必修	選 択	時間数	30時間						
履修 条件	前提科目	なし							
	その他	なし							
授業概要	「法」とは何か、法のしくみ及び基本原理を正しく理解し、日常生活において生ずる様々な問題を法はどのように処理、解決しているのかについて学習する。また、生命を尊び、人権を尊重することを理解するために、日本国憲法の基本的人権の章に焦点をあてて学習する。								
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法に関する基礎的知識を得て、日常生活で生じる問題を法的に考えることができる。 2. 憲法及び刑法で用いられる基本的な原理・概念を理解し、説明することができる。 3. 現代社会で起きる事柄を法的観点から読み解き、自分の意見を述べることができる。 								
授業回数	授 業 内 容 及 び 計 画					事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態	
第1～7回	I 法学入門——日常生活と法 (1) 法の世界へようこそ (2) 法の実現は裁判で——訴訟手続 (3) 裁判に関わる人々 (4) 日常生活と契約 (5) 日常生活とアクシデント (6) 雇用社会のルール (7) 家族関係と法					事前・事後学習 や学習課題に ついては、各講 義時に説明す る。	吉 本	講 義	
第8～14回	II 憲法と刑法 (8) 憲法とはどのようなものか (9) 憲法上の権利 (10) 統治の仕組み (1) 国会と内閣 (11) 統治の仕組み (2) 裁判所 (12) 統治の仕組み (3) 地方自治 (13) 憲法と刑法 (1) 罪刑法定主義 (14) 憲法と刑法 (2) 錯誤論、共犯論						岩 垣	講 義	
第15回	III 講義のまとめ (15) 講義のまとめと試験						吉 本	講 義	
テキスト	初回講義時に提示する。								
参考文献	講義中に適宜提示する。								
他科目との 関連	授業科目全般								
成績評価 の方法	学期末試験								
学習相談・ 助言体制	講義中に質疑を受け、対応する。								
授業改善の 特記事項	授業評価に記述された授業への要望等を必要に応じて取り入れていく。								
備 考	新聞を読む習慣を身に付けてもらいたい。 教員免許状(養護教諭二種)を取得するための必修科目。								

科目 コード	12130	授業 科目	経済学 (Economics)			担当 教員	○狩俣一郎(非常勤)	
開講年次	2年次 前期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目	授業 形態	講 義	
選択必修	選 択	時間数	30時間					
履修 条件	前提科目	なし						
	その他	なし						
授業概要	経済学の基本的な知識と医療経済学の知識を用いた実践能力を学ぶ。							
到達目標	経済理論の基本的な理解。医療経済学の基本的な理解。 我が国における社会保障と医療経済の現状の理解。 医療の現場における医療経済学の理解。 医療経済学の知識を用いて現場での実践的な活動計画の検討ができるようになる。							
授業回数	授 業 内 容 及 び 計 画				事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態	
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回	経済学・医療経済学とはなにか。 需要と供給（価格はどうやって決まるの） 需要と供給2（価格はどうやって決まるの） グループワーク 前半のまとめ ミクロ経済（市場とは） 経済の循環とマクロ経済① 経済の循環とマクロ経済② 経済の循環とマクロ経済③ 中間のまとめ 世界と日本における社会保障と医療経済 医療保険・介護保険のメカニズム 医療スタッフの労働市場 医療現場での医療経済 テスト				事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	狩 俣	講 義	
テキスト	項目ごとにオリジナル資料にて講義を行うので、その他のテキストは使用しない。							
参考文献	紙面の都合ですべてを掲載できないので、講義開始時に一覧表を配布する。 菅原 晃（2013年）『高校生からわかるマクロ・ミクロ経済学』 河出書房新社 他							
他科目との 関連	授業科目全般							
成績評価 の方法	授業参加状況（30%）＋ レポート（30%）＋ 期末試験（40%）							
学習相談・ 助言体制	講義中に質疑を受け、対応する。							
授業改善の 特記事項	授業評価に記述された授業への要望等を必要に応じて取り入れていく。							
備 考	経済学の初歩的な理解を得て、興味を持ってもらうことを目的としています。 また、医療経済学の基本を学び、実践に生かせる知識の取得を期待しています。							

科目コード	12160	授業科目	情報学 (Informatics)			担当 教員	○米盛徳市(非常勤)		
開講年次	2年次	前期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目		授業 形態	講義
選択必修	選	択	時間数	30時間					
履修条件	前提科目	なし							
	その他	なし							
授業概要	情報の持つ意味など情報の本質に関する理論や知識を学び、さらには科学的思考活動や社会調査など研究活動に結びつく情報の処理方法とその応用を学習する。								
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報の意味およびその活用方法について述べることができる。 2. 情報およびデータの分類について述べるができる。 3. 調査データを用いた情報処理を行うことができる。 4. 処理した情報を活用することができる。 								
授業回数	授業内容及び計画					事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態	
第1回	情報とリテラシー：情報とは何か					レポート1 レポート2 レポート3 レポート4 レポート5 レポート6 レポート7	米盛	講義 演習	
第2回	ICTについて：インターネット技術と仕組み								
第3回	情報の活用と発信：ブラウザによる情報の活用								
第4回	データ処理1：データの分類と尺度								
第5回	データ処理2：数値とカテゴリーの扱い								
第6回	データ処理3：基礎的データ処理の考え方								
第7回	データ処理4：2つのデータの組み合わせ								
第8回	データ処理5：2つ以上のデータの組み合わせ								
第9回	データ処理6：高度なデータ集計法と適応範囲								
第10回	データ処理環境の選択とツール：Excelと統計ソフト								
第11回	R言語による情報処理演習1：基本操作編								
第12回	R言語による情報処理演習2：データ入力								
第13回	R言語による情報処理演習3：基礎集計								
第14回	R言語による情報処理演習4：クロス集計								
第15回	まとめ								
テキスト	R 初心者のためのABC シュプリンガー・ジャパン(演習用)、講義は配布資料を基に行う。								
参考文献	講義時に紹介する。								
他科目との 関連	授業科目全般								
成績評価 の方法	出席 10%、演習参加状況 40%、試験 50%								
学習相談・ 助言体制	講義は全体で3回レポートを課す。演習は毎回レポートを課す。レポートは次回授業までに提出を求め、講義内容についての理解を広げ深める方法の体験を促す。								
授業改善の 特記事項	講義および演習内容を伝達するための資料を毎回作成、配布する。								
備考									